

思 い 出 す ま ま に



薬丸 洋 一

㈱東建ジオテック東北支店 支店長

平成6年から2度目の東北支店勤務となり、3年が経過いたしました。前は4年間でしたので、合計しますと、仙台での生活は7年ということになります。

私が当社に入社した昭和39年ころは、東京オリンピックの開催、東海道新幹線の開業、東名高速道路が地質調査の真っ盛りの時期でした。そのころからオイルショック直前の、昭和48年ころまでは、同業他社も同様だったと思いますが、我社も伸び盛りの時期でした。私が入社したころの社員数は70人台だったのが、支店の増設等もあり、わずか10年弱で約4倍になりました。それに伴い、転勤も多く、大阪、名古屋、広島、東京、九州支店を経験しました。その間、

広島時代に結婚し、長女も誕生し、東京時代に長男が誕生しました。

昭和57年に支店長としては、初めての勤務地として仙台にまいりました。雪が少なく、暑すぎない気候とか、町の大きさ等からも、暮らすという意味で、仙台という町がすっかり気に入ってしまいました。昭和61年に、長女が進学の時期を迎えたこともあり、結婚以来続いていた公団住宅暮らしに終止符を打ち、郊外に家を新築しました。名実とも仙台が第二の故郷ということになりました。

その後、支店長として、大阪、福岡、札幌の順で転勤いたしました。合計8年間単身赴任生活も経験しました。

平均して、およそ3年ごとに転勤を繰り返しますと、転勤慣れしてしまい、人脈をつくるのが苦手になり、大事な事と理解しているつもりでも、心の片隅に、どうせ3年もすると、いなくなるのだからと言う意識が働いてしまいます。

結婚後、転居が5回、単身赴任が長かったことを含めて、家族には大変迷惑をかけました。子供たちには申し訳なかったのですが、転校を2回経験させてしまいました。

支店長の職務というのは、支店の受注を確保し、業績をあげることが、最大の使命であることはもちろんです。それと同時に、支店職員にとって、働きやすい、働きがいのある、もろもろの環境をつくるのが、より重要な事と考えます。私は「俺についてこい」式の強い個性をもっている訳でもなく、性格でもないので、部下を信頼し、成長を気長に待つような意識で努めています。若い職員が、仕事を通して、徐々に力をつけ、より困難な業務を、こなせるようになっていく姿を見るのは、うれしいものです。

結果的には、現在まで14年間支店長を続けたことになってしまいました。昔若かった支店長も、今回仙台に戻ってみますと、ほとんどの支社長さんや支店長さんが私より年下であることに気付き、私ももう、そのような年になってしまったのかと啞然としてしまいました。そろそろ、後進に道を譲る時期が、近づいてきているのかもしれませんが。

転勤が多かったせいもあり、学会や、協会活動に参画する機会もそう多くなく、東京時代に地盤工学会の事業普及委員、大阪時代に関西協会の理事で、技術委員会の副委員長を勤めた程度です。平成7年秋から、東北協会の積算委員長を拝命し、現在に至っております。もう、33年以上も、この

業界にお世話になっているわけですから、少しでも、御恩返しができればと、考えております。

略歴；北海道旭川市出身

昭和39年3月 新潟大学理学部地質
鉱物学科卒

昭和39年4月 鶴東建ジオテック入
社

昭和47年1月 技術士（応用理学部
門）取得

昭和57年3月 東北支店長

昭和63年3月 取締役九州支店長

平成6年4月 取締役東北支店長

趣味；ゴルフ（なかなか100を切れない）
囲碁（自称2段）

家族；妻（仙台乳児院勤務）

長女28才（なぜかまだ学生）

長男26才（大阪在住）

雄猫1匹（約10才、ミースケ）

